

# Iwatani

## 2014年3月期 中間決算説明会

2013年11月20日

岩谷産業株式会社

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。  
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

- 2014年3月期 中間決算概況
- 2014年3月期 通期業績予想
- 中期経営計画「PLAN15」について

# 2014年3月期 中間決算概況

# 中間期(2013年4月～2013年9月)の業績

(単位:百万円)

	13年3月期 中間実績	14年3月期 中間実績	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
売上高	304,036	308,496	+4,459	+1.5%
売上総利益	64,045	64,729	+684	+1.1%
営業利益	3,126	3,032	△94	△3.0%
経常利益	3,081	3,483	+402	+13.1%
純利益	305	1,774	+1,468	+480.6%

14年3月期 中間 期初予想	期初予想比 (増減額)	期初予想比 (%)
308,200	+296	+0.1%
—	—	—
3,400	△367	△10.8%
3,200	+283	+8.8%
500	+1,274	+254.8%

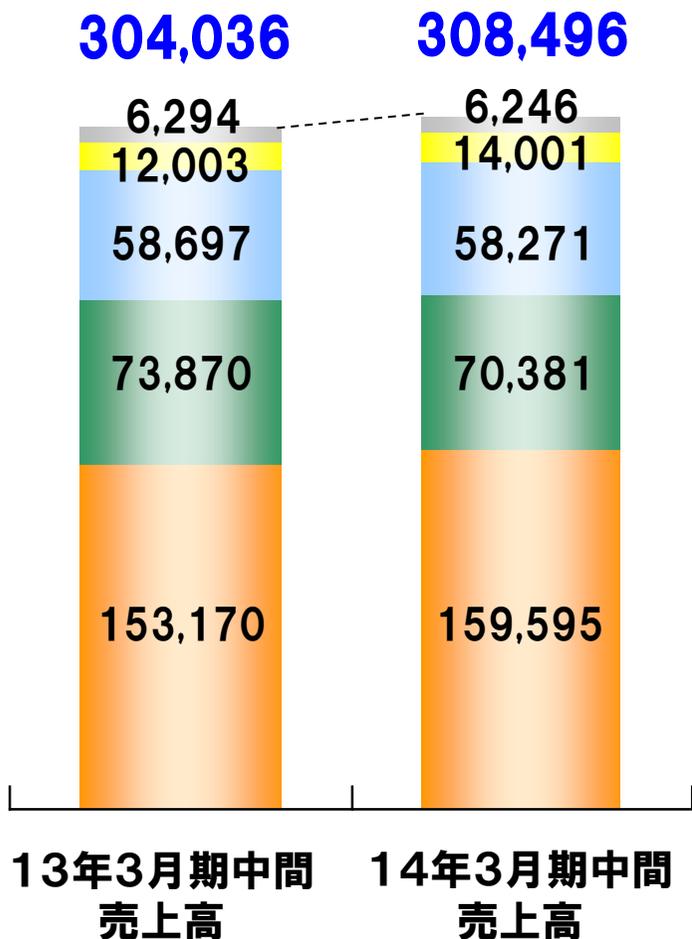
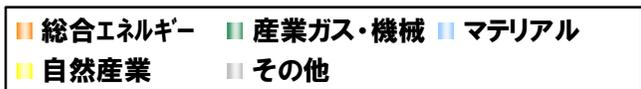
	13年3月期 中間実績	14年3月期 中間実績	前年同期比 (増減額)
設備投資※	8,750	7,698	△1,052
減価償却費※	6,039	6,430	+391

※設備投資、減価償却費は有形固定資産のみの数値

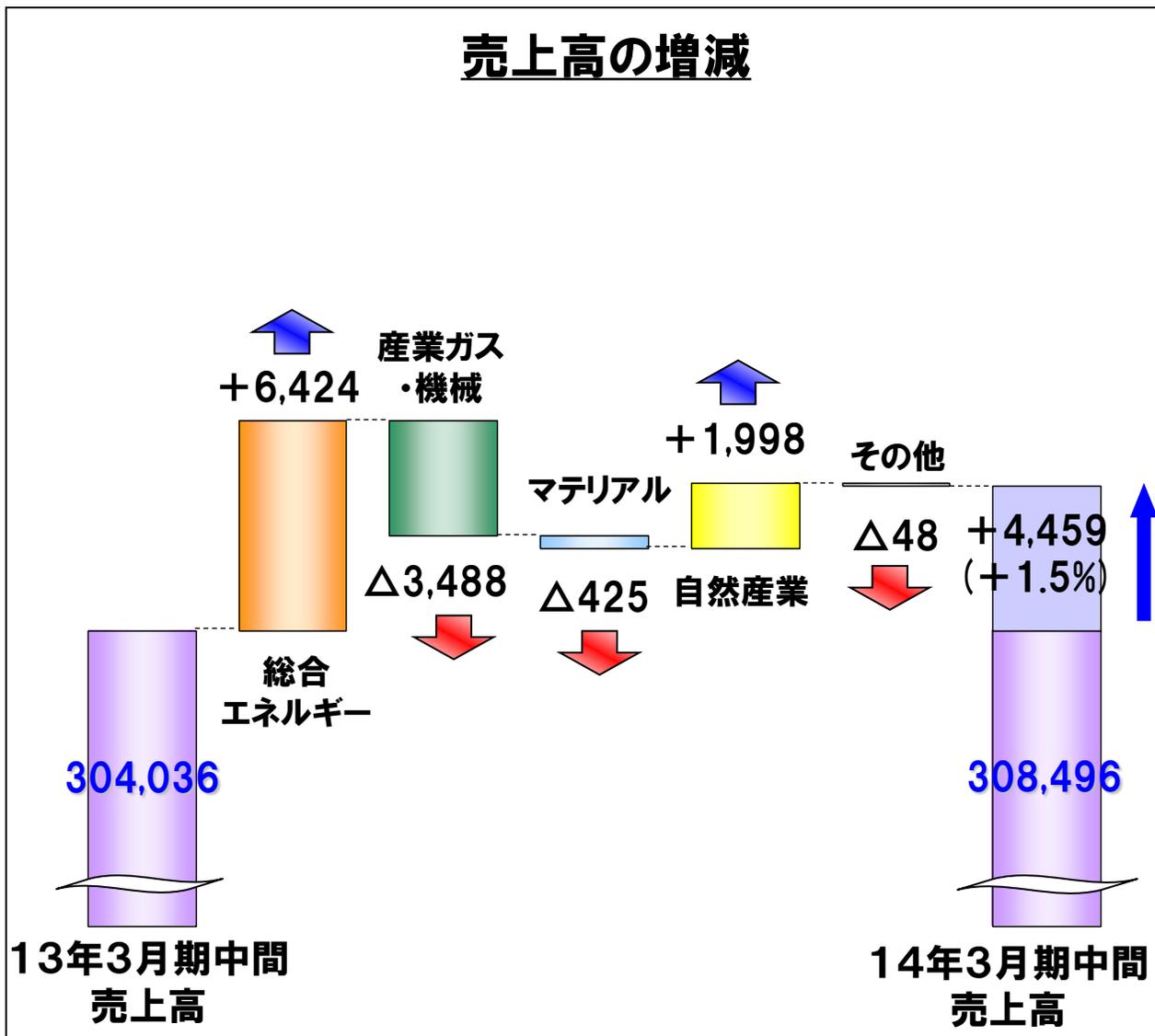
## 13年3月期中間～14年3月期中間比較

(単位:百万円)

### 売上高



### 売上高の増減

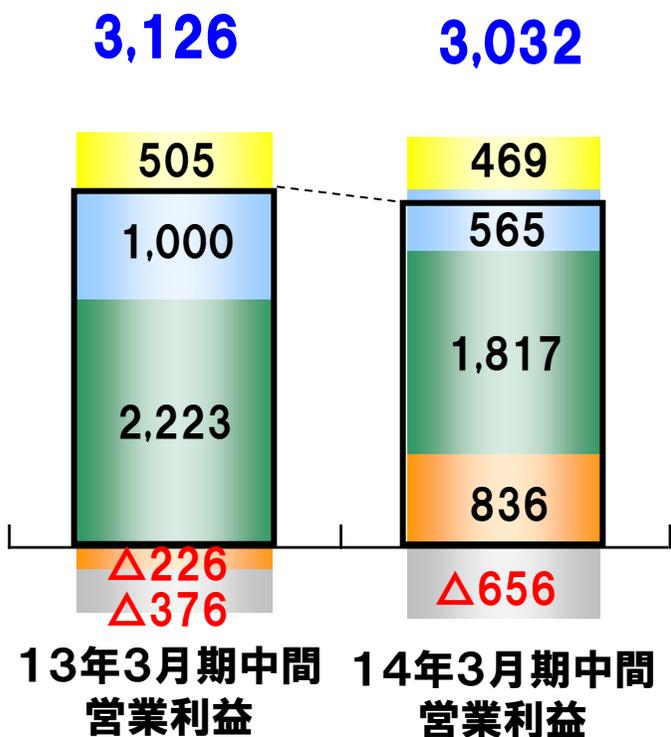


## 13年3月期中間～14年3月期中間比較

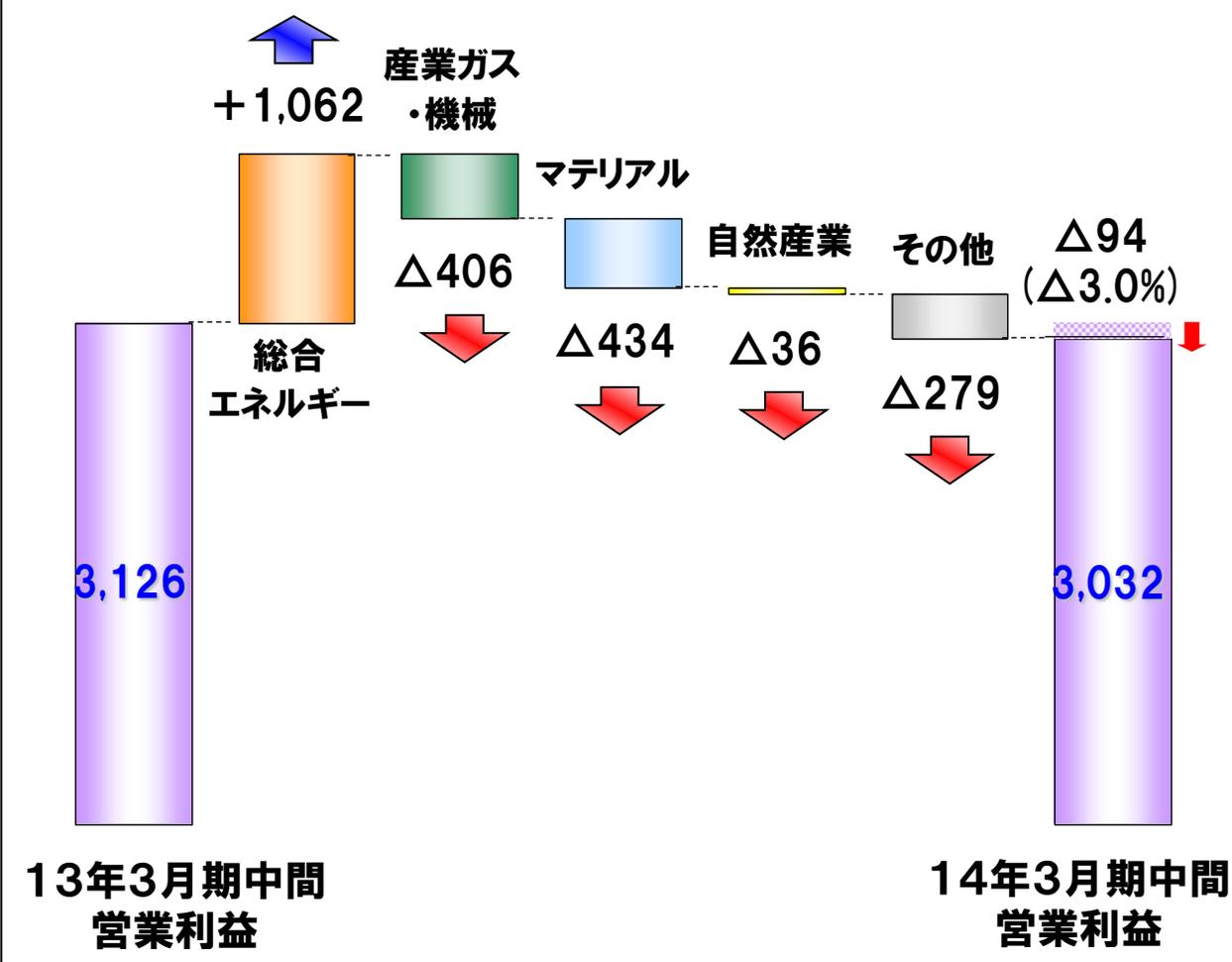
(単位:百万円)

### 営業利益

- 総合エネルギー
- 産業ガス・機械
- マテリアル
- 自然産業
- その他・調整額



### 営業利益の増減



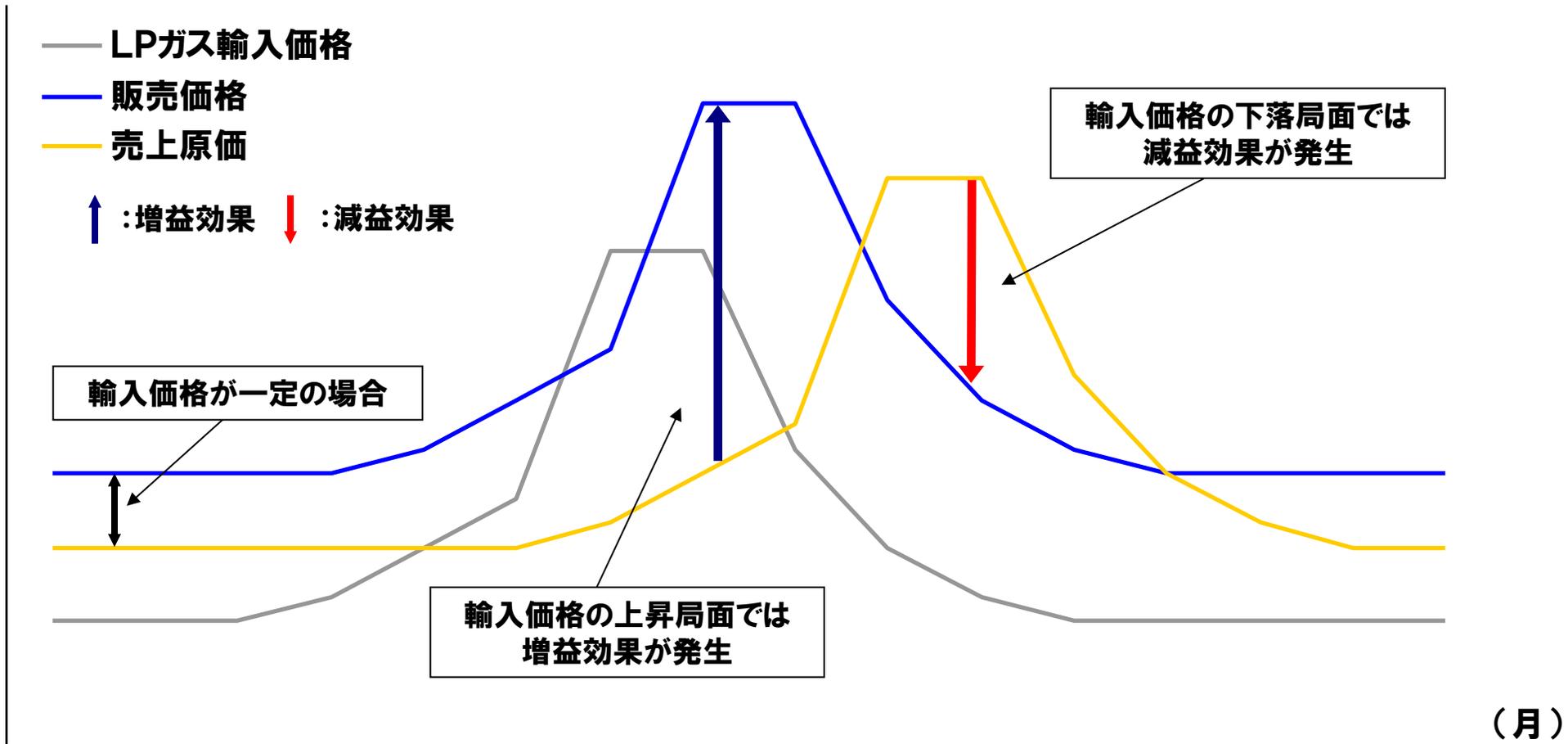
# LPガス輸入価格(CP)の変動による増減益効果(イメージ)

## 卸売での販売価格体系

販売価格：前月と当月のLPガス輸入価格の平均値に連動  
売上原価：2～3ヶ月前のLPガス輸入価格に連動

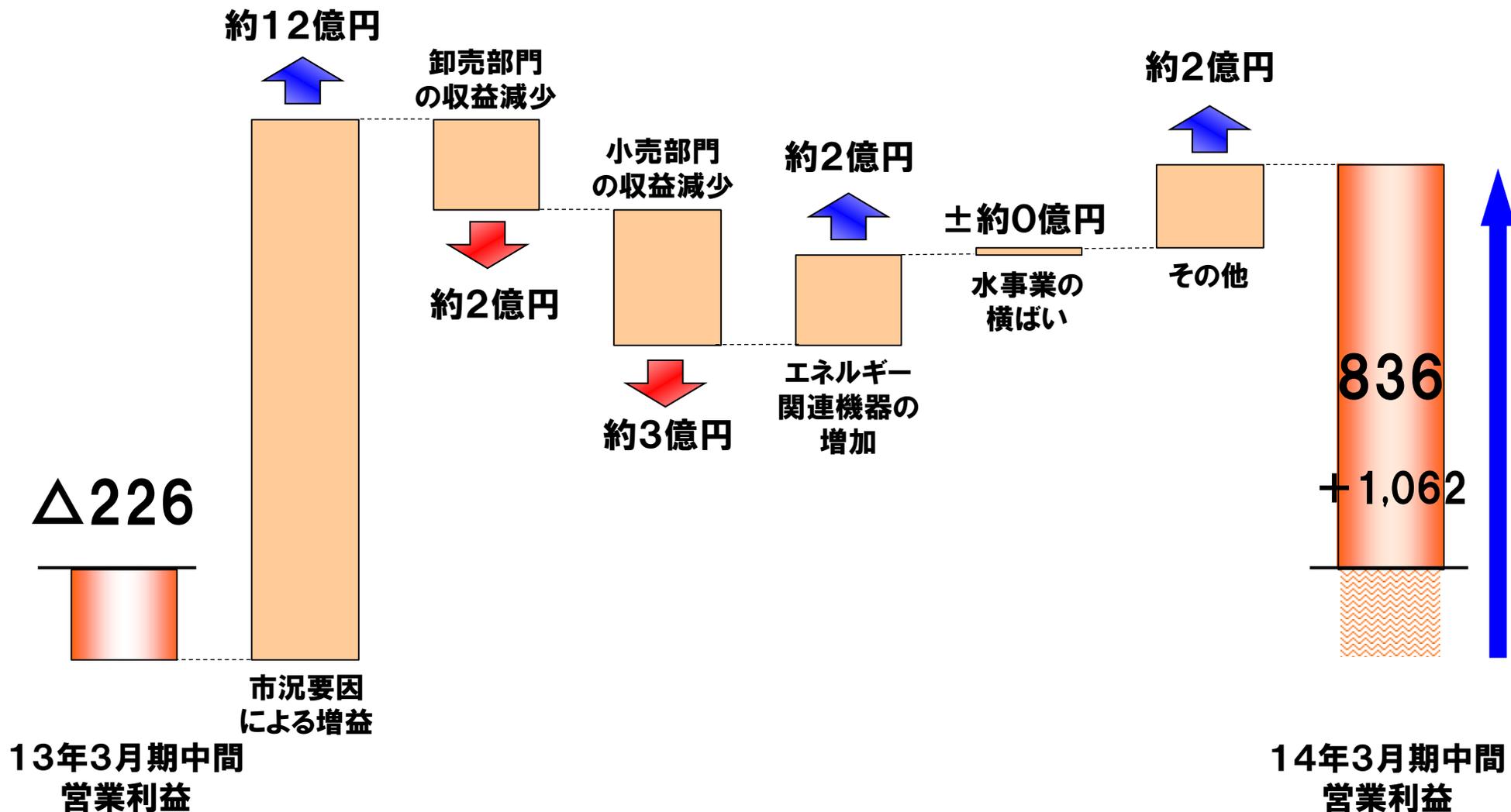
→ 輸入事業者として民間法定備蓄義務があり、仕入から出荷までにタイムラグが出る  
在庫評価は先入先出法である

(価格)



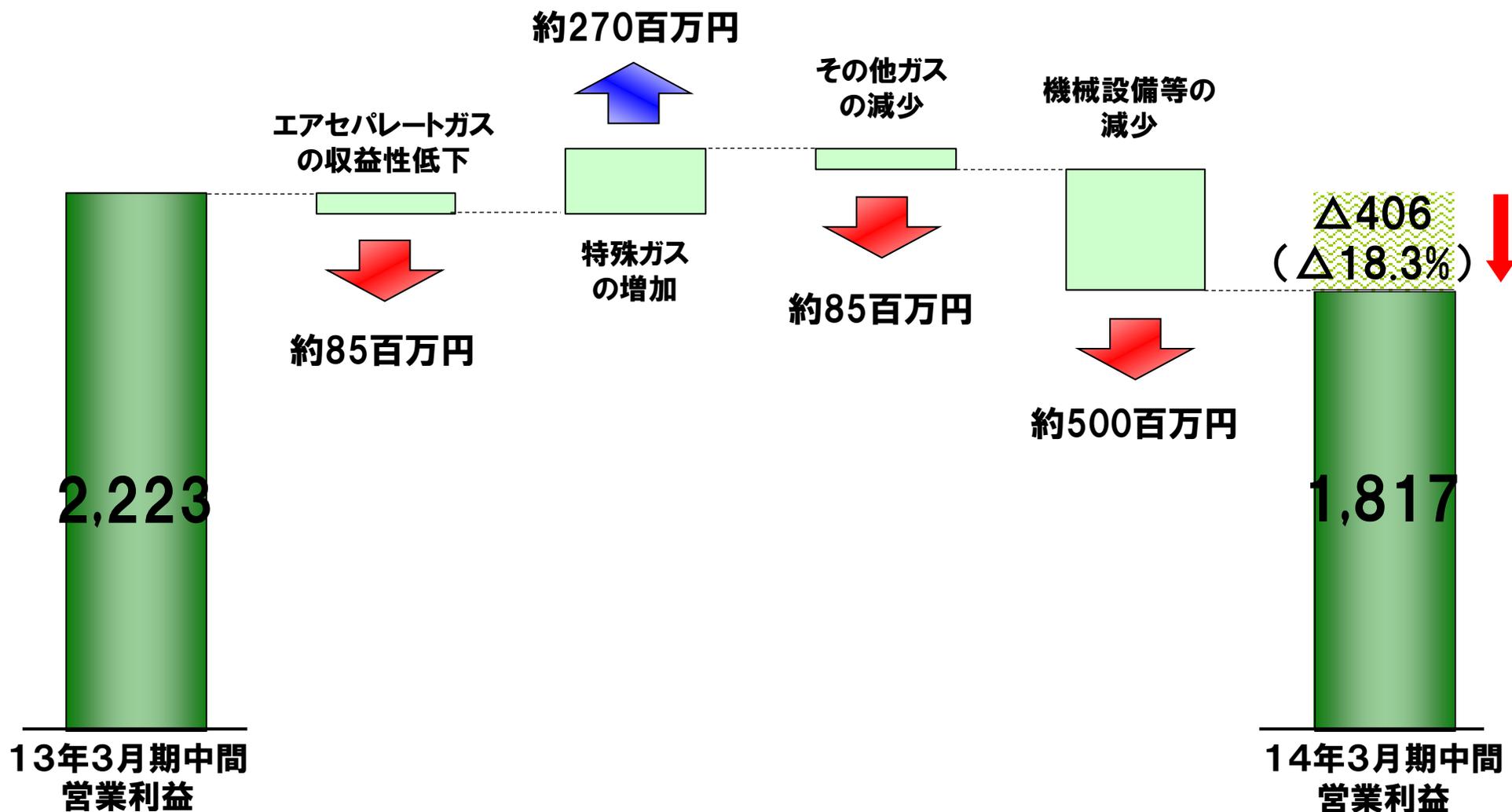
## 13年3月期中間～14年3月期中間比較

(単位:百万円)



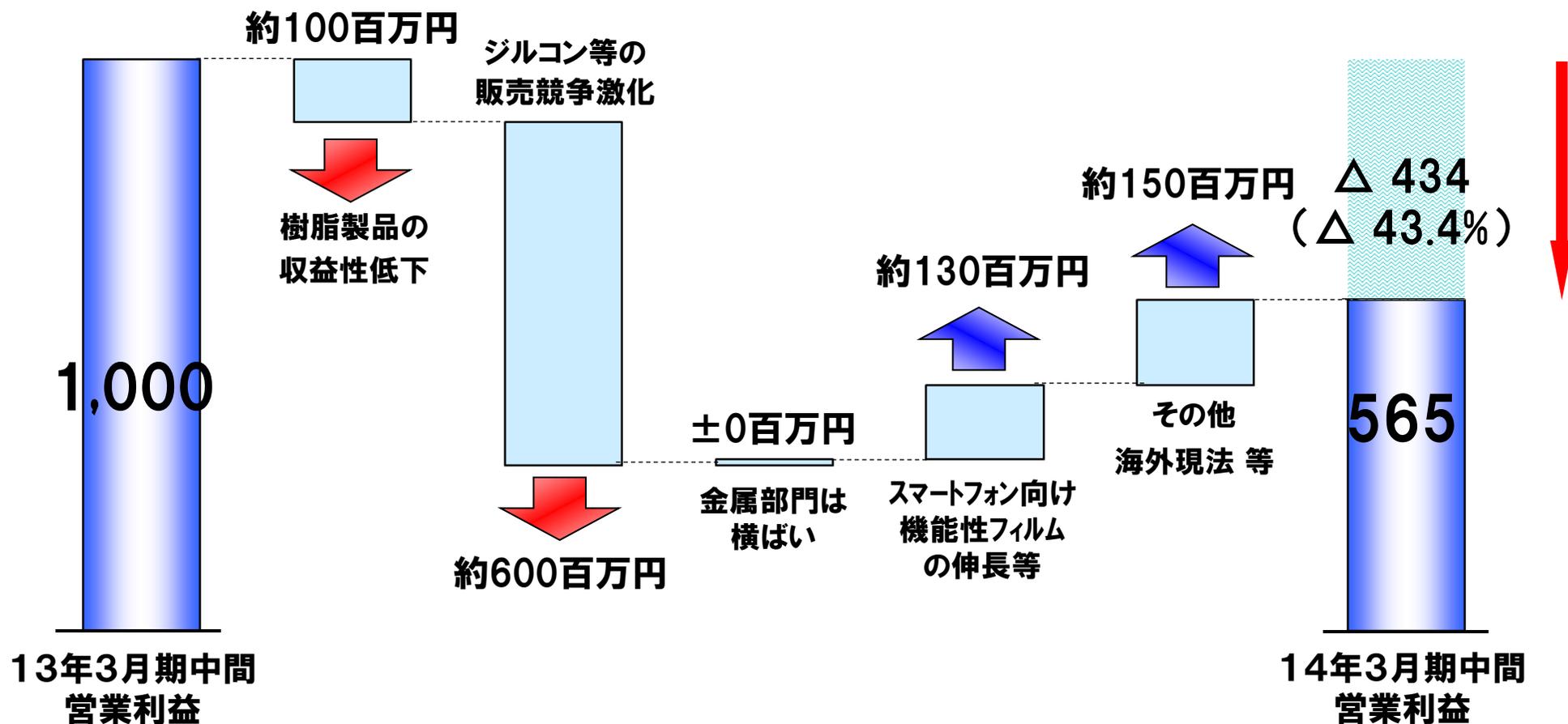
## 13年3月期中間～14年3月期中間比較

(単位:百万円)

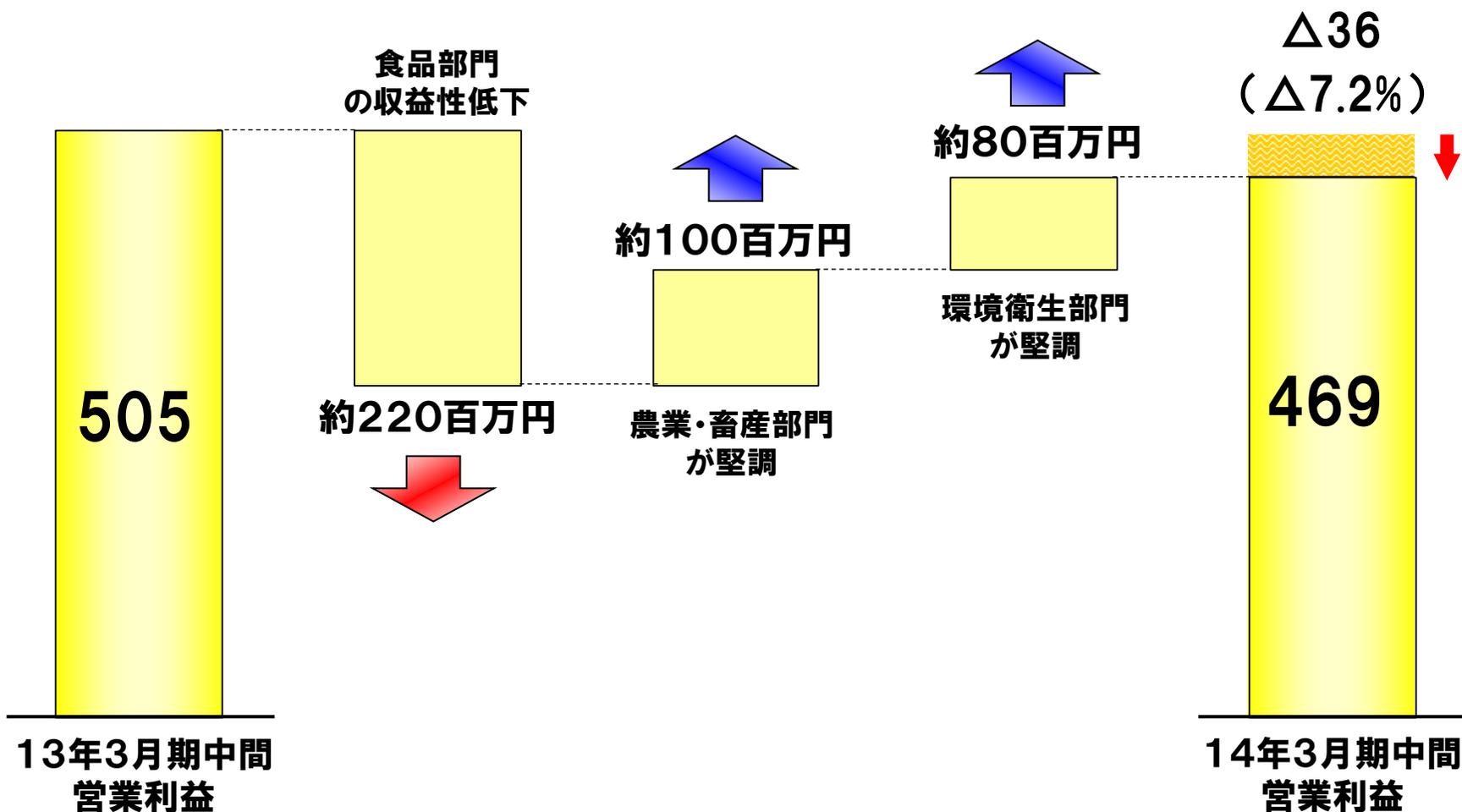


## — 13年3月期中間～14年3月期中間比較 —

(単位:百万円)



## — 13年3月期中間～14年3月期中間比較 — (単位:百万円)

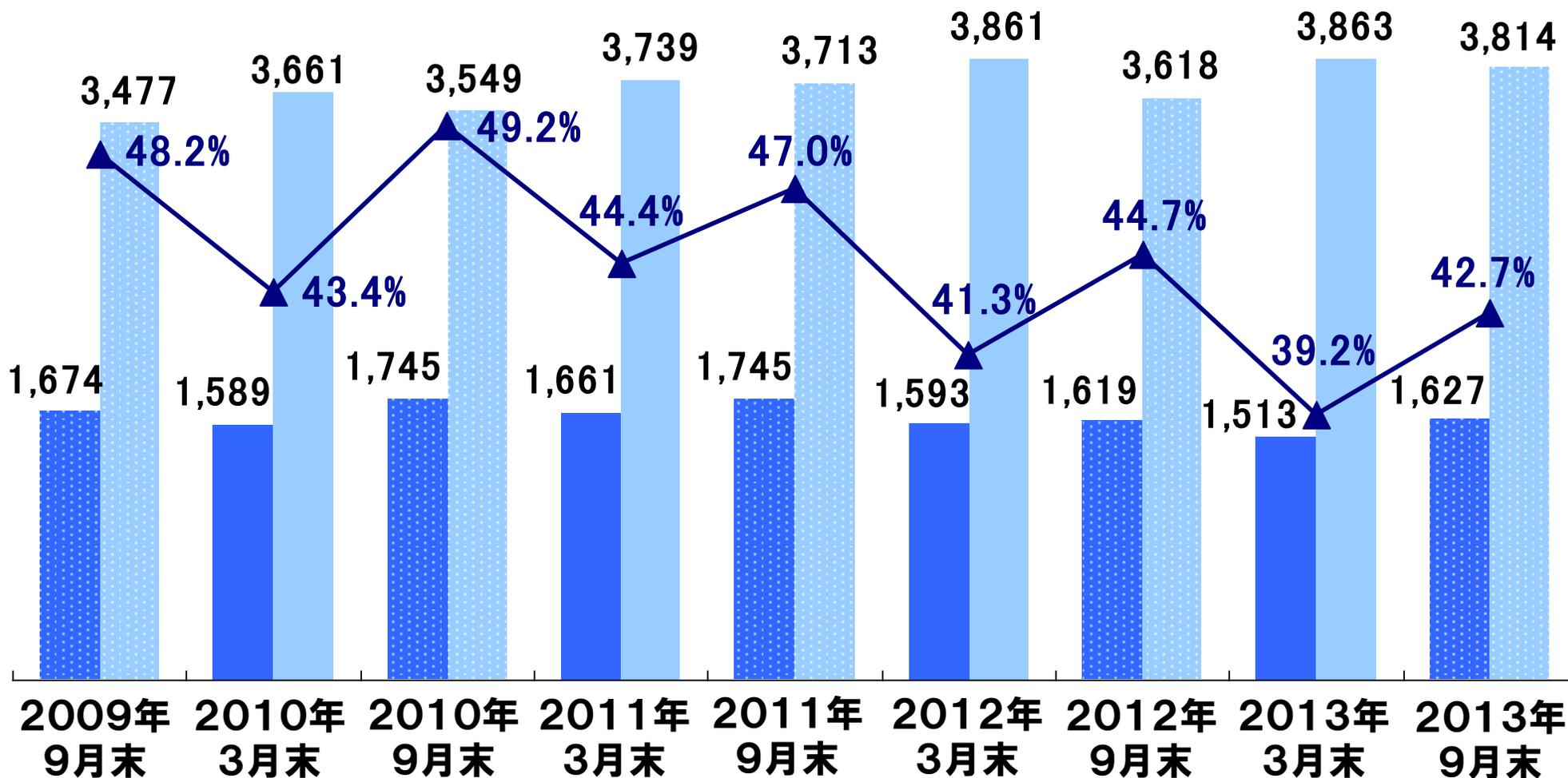


# 貸借対照表

	2013年 3月末	2013年 9月末	前期末比 (増減額)	主な増減理由
<b>流動資産</b>	178,779	169,560	△9,218	
現金及び預金	14,382	20,171	+5,789	
受取手形及び売掛金	108,087	94,714	△13,372	季節性による売上の減少
棚卸資産	40,997	41,368	+371	
その他	15,312	13,305	△2,006	
<b>固定資産</b>	207,523	211,857	+4,333	
有形固定資産	127,188	132,722	+5,534	新規連結子会社の影響など
無形固定資産	17,705	17,028	△676	のれんの減少
投資その他の資産	62,629	62,105	△523	
<b>流動負債</b>	198,938	190,079	△8,858	
支払手形及び買掛金	98,500	83,685	△14,815	季節性による売上の減少
その他	100,437	106,394	+5,957	
<b>固定負債</b>	96,461	96,017	△444	
<b>負債合計</b>	295,399	286,097	△9,302	
<b>純資産</b>	90,903	95,320	+4,417	為替換算調整勘定の増加など
<b>総資産</b>	386,302	381,417	△4,884	

# 有利子負債依存度の推移

■ 有利子負債(億円)    ■ 総資産(億円)    ▲ 有利子負債依存度



# キャッシュフロー計算書

		2013年 3月期中間	2014年 3月期中間	前年同期比 増減額
営業キャッシュフロー		11,172	9,054	△2,118
内訳	税引前四半期純利益	1,989	3,593	
	減価償却費	7,065	7,337	
	売上債権の増減額(△は増加)	24,159	16,037	
	棚卸資産の増減額(△は増加)	2,527	212	
	仕入債務の増減額(△は減少)	△21,906	△16,972	
	前払年金費用の増減額(△は増加)	△121	3,348	
投資キャッシュフロー		△11,267	△10,200	+1,066
内訳	有形固定資産の取得	△7,107	△10,291	
	無形固定資産の取得	△927	△953	
	投資有価証券の取得	△1,545	△588	
フリーキャッシュフロー		△94	△1,146	△1,051
財務キャッシュフロー		△119	5,596	+5,715
現金及び現金同等物の期首残高		18,966	14,026	△4,939
現金及び現金同等物の増減高		△129	5,012	+5,142
連結範囲変更による影響額等		—	674	+674
現金及び現金同等物の期末残高		18,836	19,713	+877

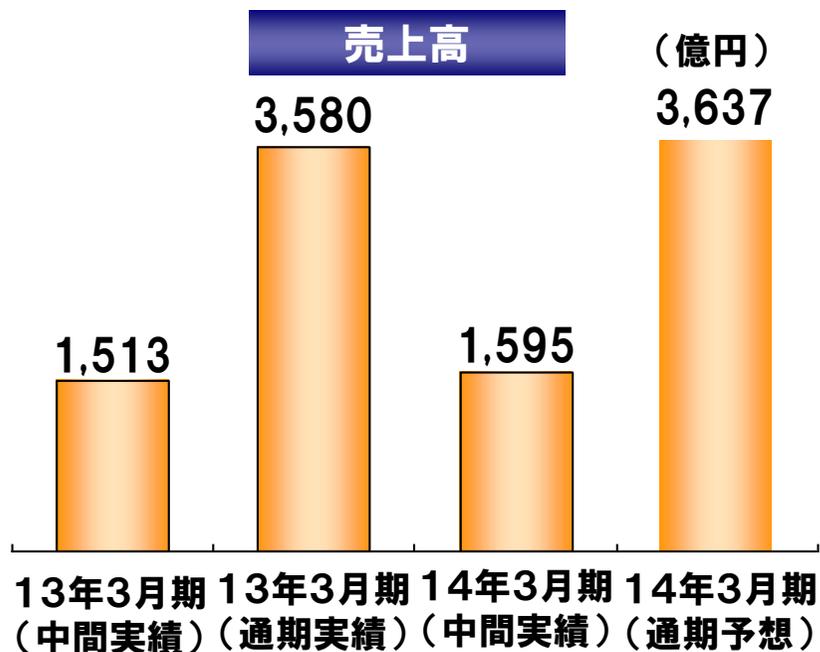
# 2014年3月期 通期業績予想

# 2014年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)

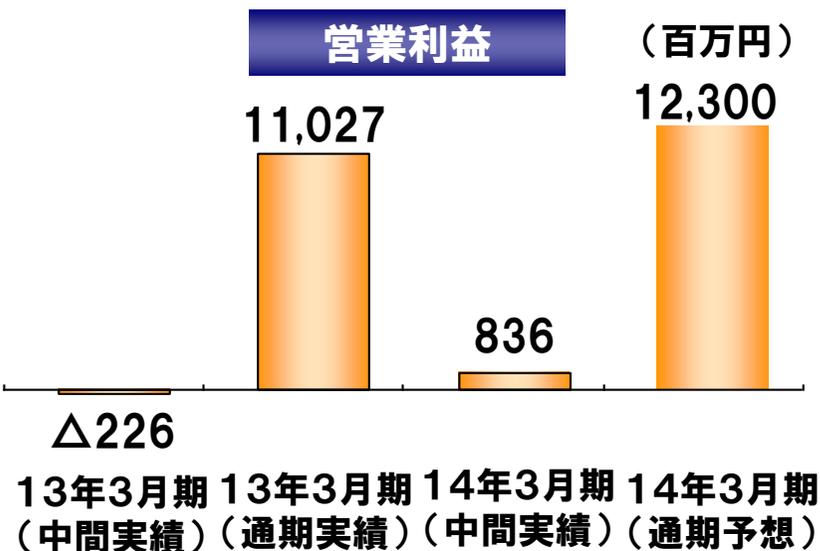
	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 中間実績	2014年3月期 通期(予想)	前年度比 増減額(予想)	前年度比(%)
売上高	657,006	308,496	675,000	+17,993	+2.7
総合エネルギー事業	358,078	159,595	363,700	+5,621	+1.6
産業ガス・機械事業	145,092	70,381	153,600	+8,507	+5.9
マテリアル事業	118,041	58,271	119,400	+1,358	+1.2
自然産業事業	23,672	14,001	25,700	+2,027	+8.6
その他	12,121	6,246	12,600	+478	+4.0
営業利益 (△は営業損失)	16,709	3,032	18,500	+1,790	+10.7
総合エネルギー事業	11,027	836	12,300	+1,272	+11.5
産業ガス・機械事業	3,936	1,817	5,400	+1,463	+37.2
マテリアル事業	1,816	565	2,300	+483	+26.6
自然産業事業	505	469	630	+124	+24.6
その他	△576	△656	△2,130	△1,553	—
経常利益	17,406	3,483	18,000	+593	+3.4
当期純利益	8,026	1,774	8,600	+573	+7.1
設備投資 ※	18,154	7,698	16,800	△1,354	△7.5
減価償却費 ※	12,329	6,430	14,034	+1,704	+13.8

※設備投資、減価償却費は有形固定資産のみの数値



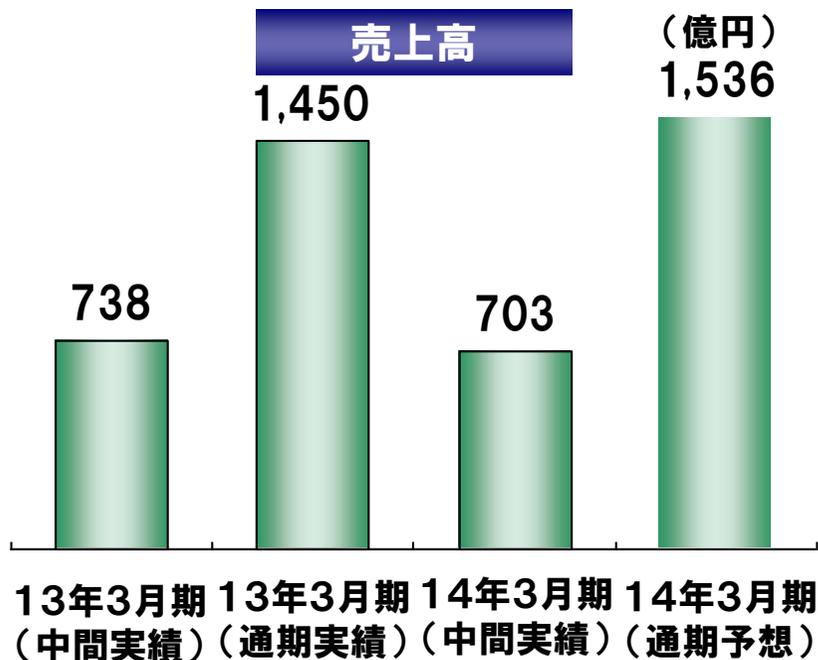
## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- LPガス消費者戸数の拡大、販売数量増加
- エネルギー関連機器の拡販
- 宅配水ビジネスにおける新規顧客獲得



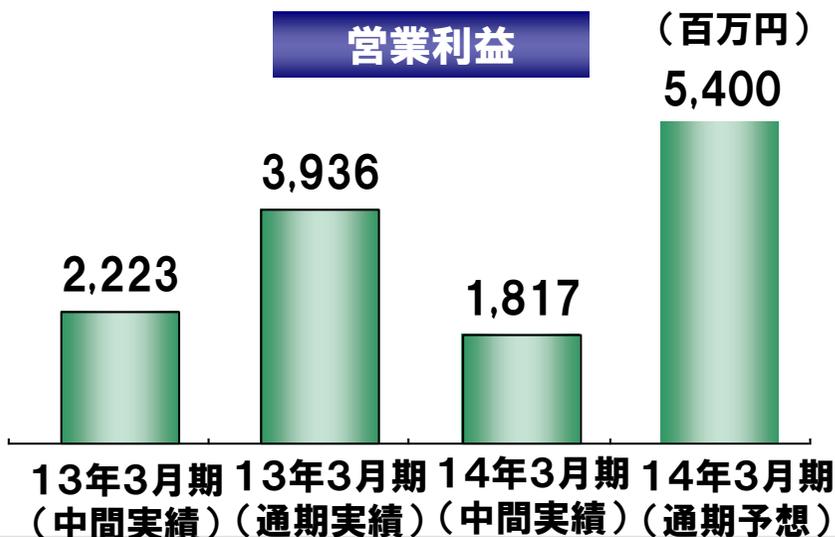
## 業績が変動するリスク要因

- ◇ LPガス輸入価格の大幅な変動
- ◇ 暖冬による販売数量の減少



## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

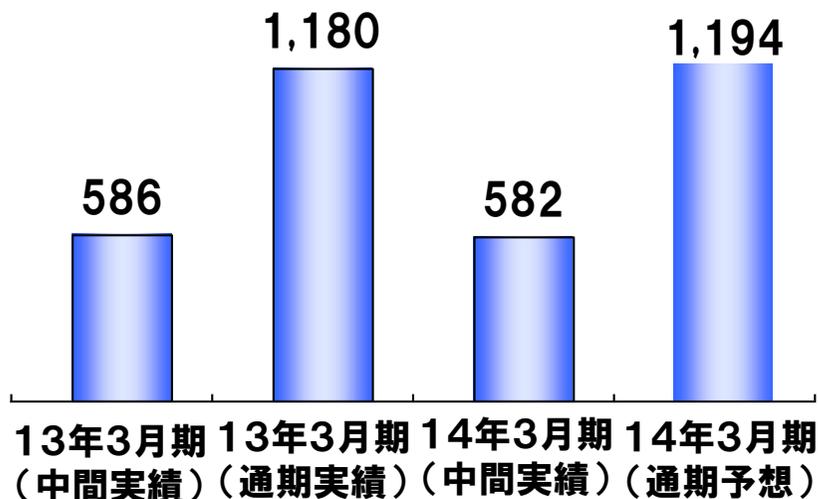
- ・水素、ヘリウムを中心としたガスの拡販
- ・物流の効率化によるコスト削減
- ・機械設備等の販売強化



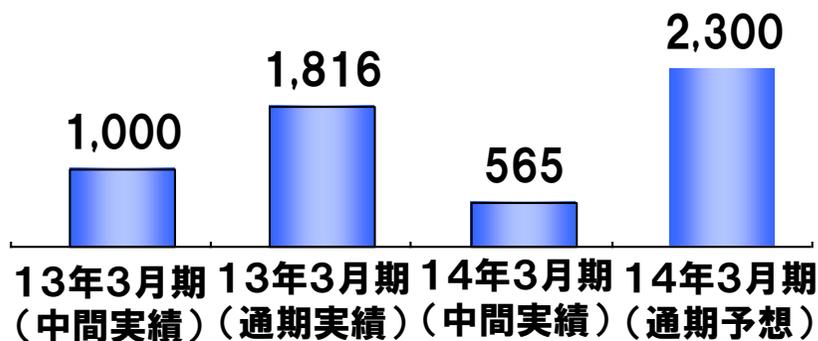
## 業績が変動するリスク要因

- ◇国内生産および設備投資の回復の遅れ
- ◇電力料金上昇分の価格転嫁の遅れ

売上高 (億円)



営業利益 (百万円)

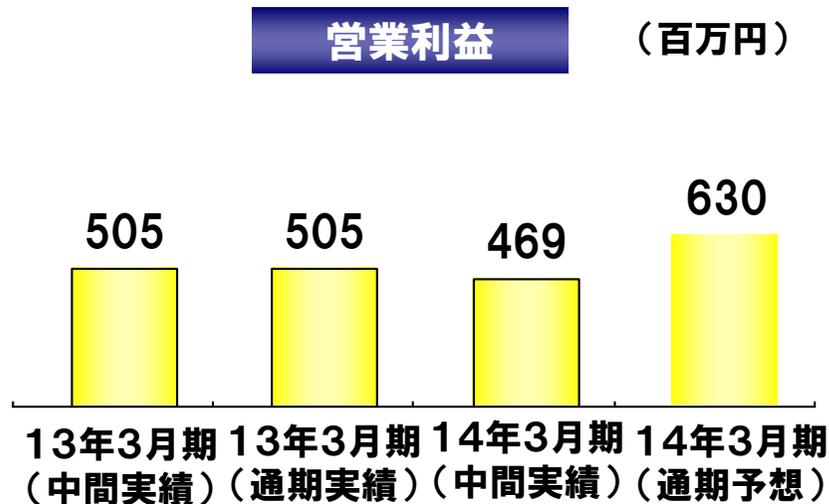
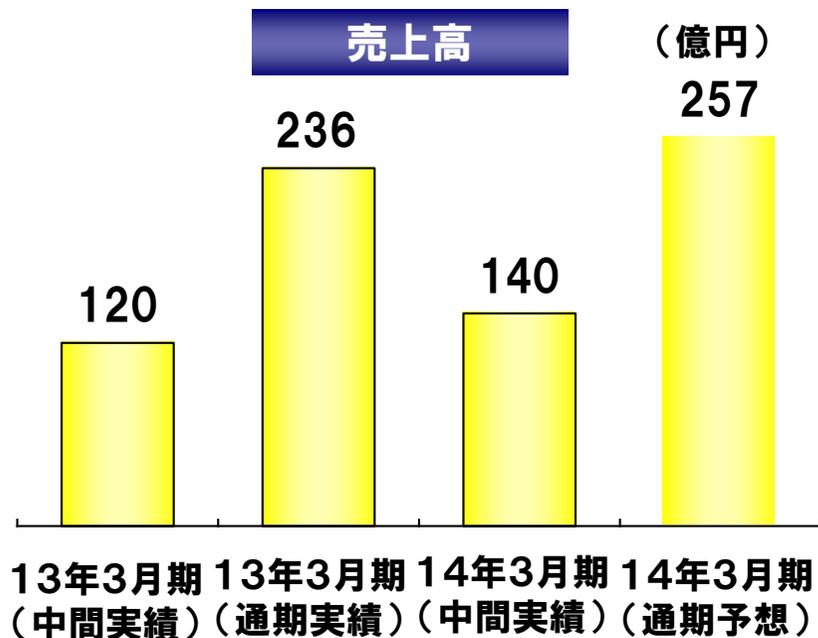


## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・ 鉱物原料事業の収益改善
- ・ 高性能材料等の販売拡大

## 業績が変動するリスク要因

- ◇ 資源価格の回復の遅れ
- ◇ 顧客企業の工場稼働率の低下



## 通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・食品の新商品投入、販路の拡大
- ・農業部門、畜産部門での販売拡大

## 業績が変動するリスク要因

- ◇為替、原材料価格変動、天候不順等
- ◇食品の品質管理等の費用増加

# 中期経営計画 「PLAN15」について

これまでに培ってきた事業基盤の更なる強化

次の成長に繋がる「変革」



PLAN15のテーマ

「変革」と「成長」

～飛躍に向けた礎を～

収益構造の着実な強化

東南アジア市場での成長

PLAN15のテーマ

**「変革」と「成長」**

～飛躍に向けた礎を～

グループ経営の強化

技術力の強化

# 経営の目標及び経営数値目標

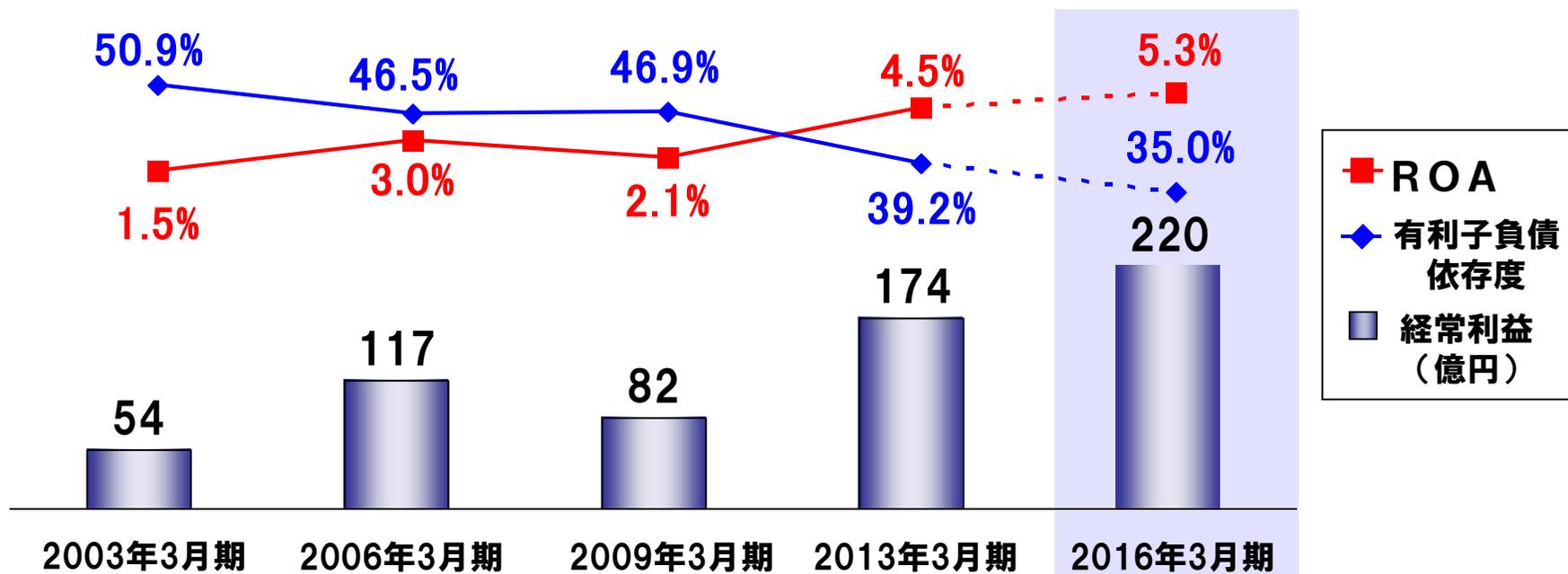
## 経営の目標

- ① 持続的な収益力の向上
- ② 財務体質の強化

## 経営数値目標

<2016年3月期>

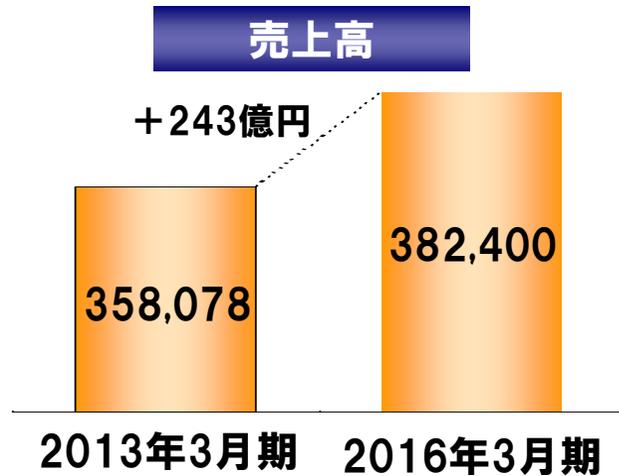
経常利益	220億円
ROA	5.3%
有利子負債額	1,450億円
有利子負債依存度	35.0%



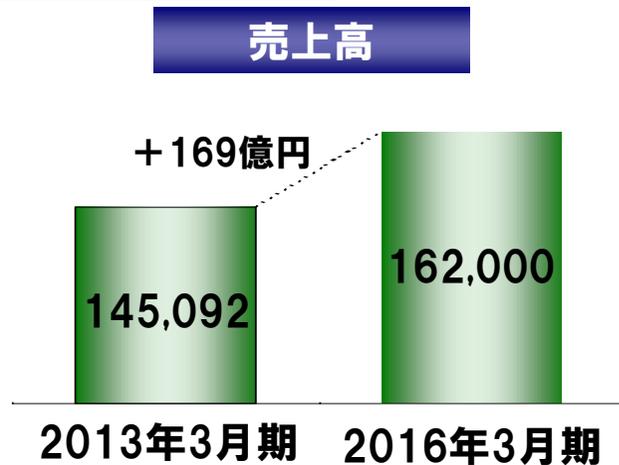
## セグメント別推移

## 総合エネルギー事業

(単位：百万円)



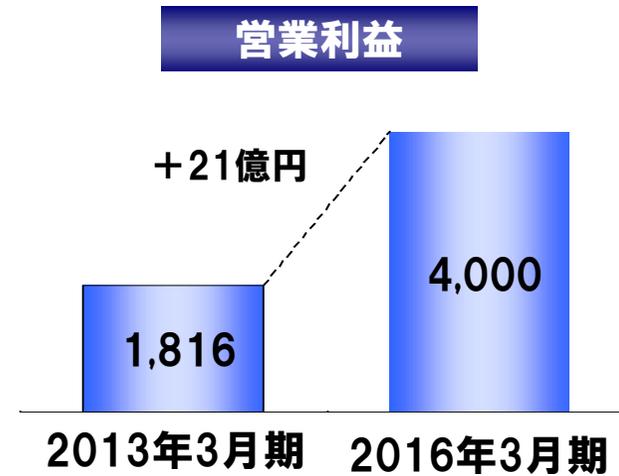
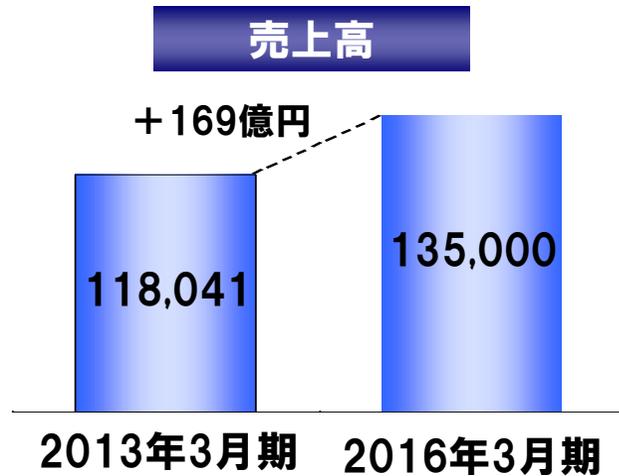
## 産業ガス・機械事業



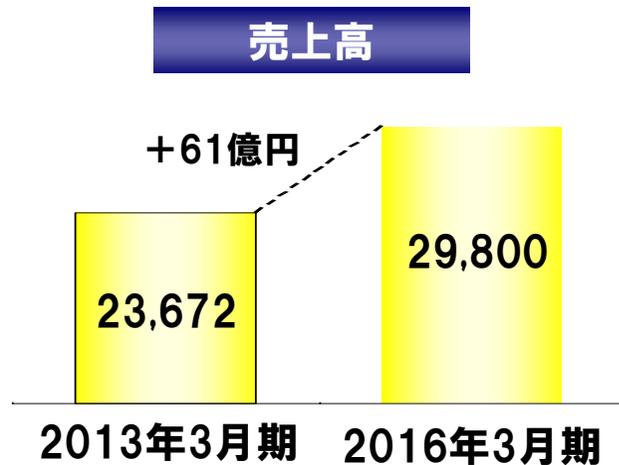
## セグメント別推移

## マテリアル事業

(単位：百万円)



## 自然産業事業



# 水素事業の長期展望

## 目標

2025年までに水素の年間販売数量6億 $m^3$ を目指す

## 基本方針

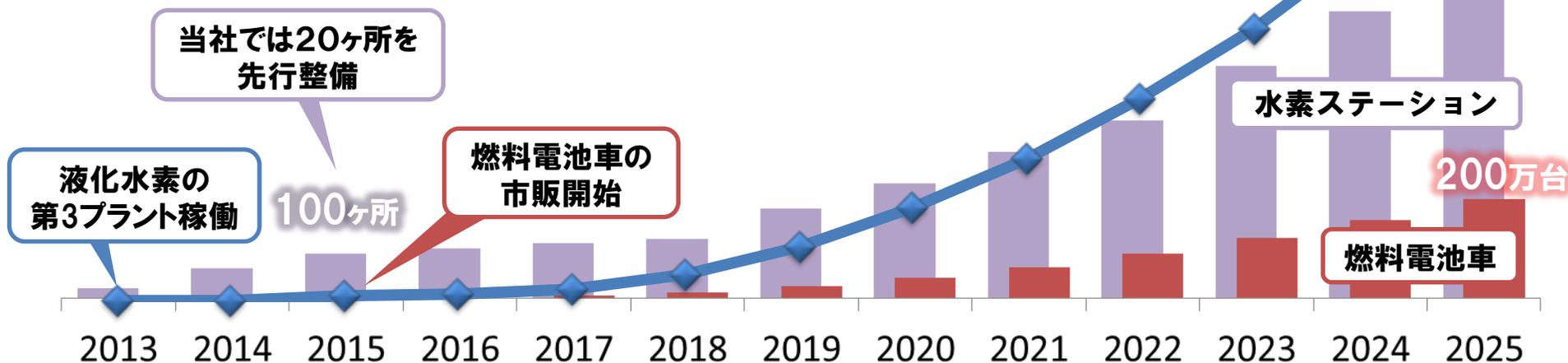
- 供給力並びにハンドリング技術の更なる強化
- 新市場の創出

2012年  
産業用途向け  
水素需要

1.4億 $m^3$

2025年  
燃料電池車向け  
水素需要

24億 $m^3$



## 燃料電池車向け水素需要(イワタニシナリオ)

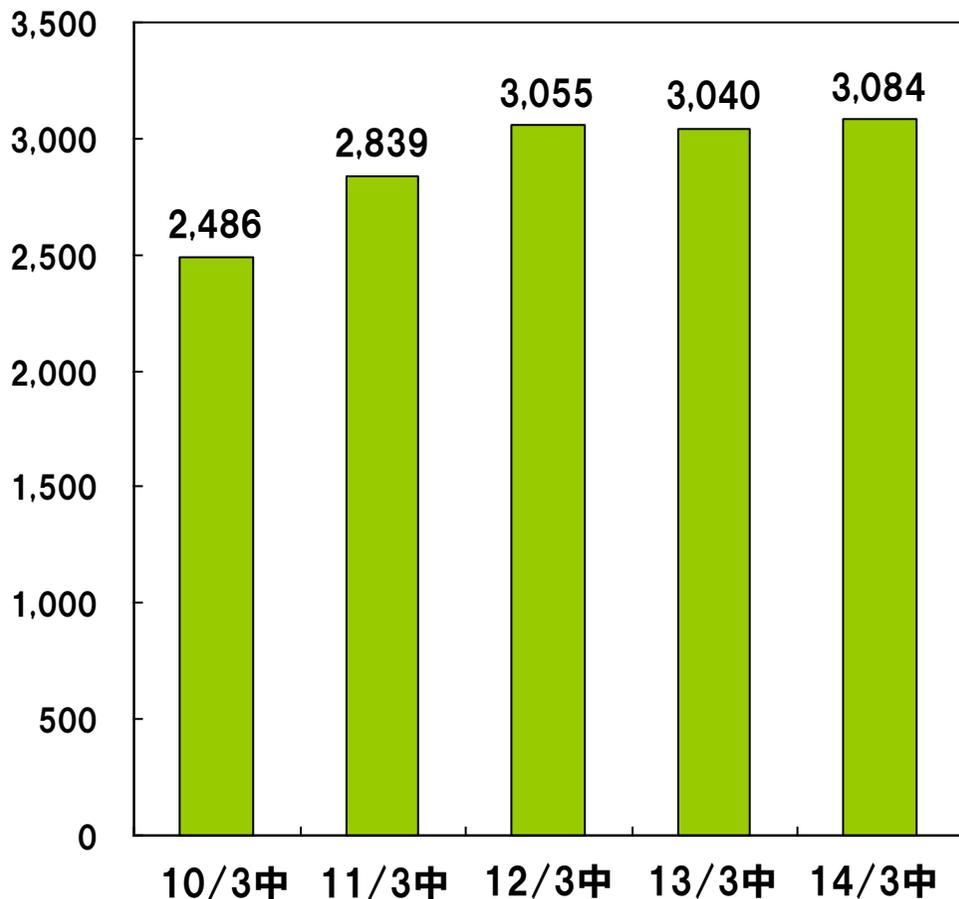
※2025年に燃料電池車が200万台普及するという前提のもとに試算  
 ※200万台の根拠については、FCCJ（燃料電池実用化推進協議会）資料より引用

※燃料電池車1台当たりの年間走行距離を1.2万km、燃費を100km/kgとして試算  
 ※2012年の産業用途向け水素需要は「ガスジオラマ2013」より引用

# 参考資料

## 〈売上高推移〉

(億円)



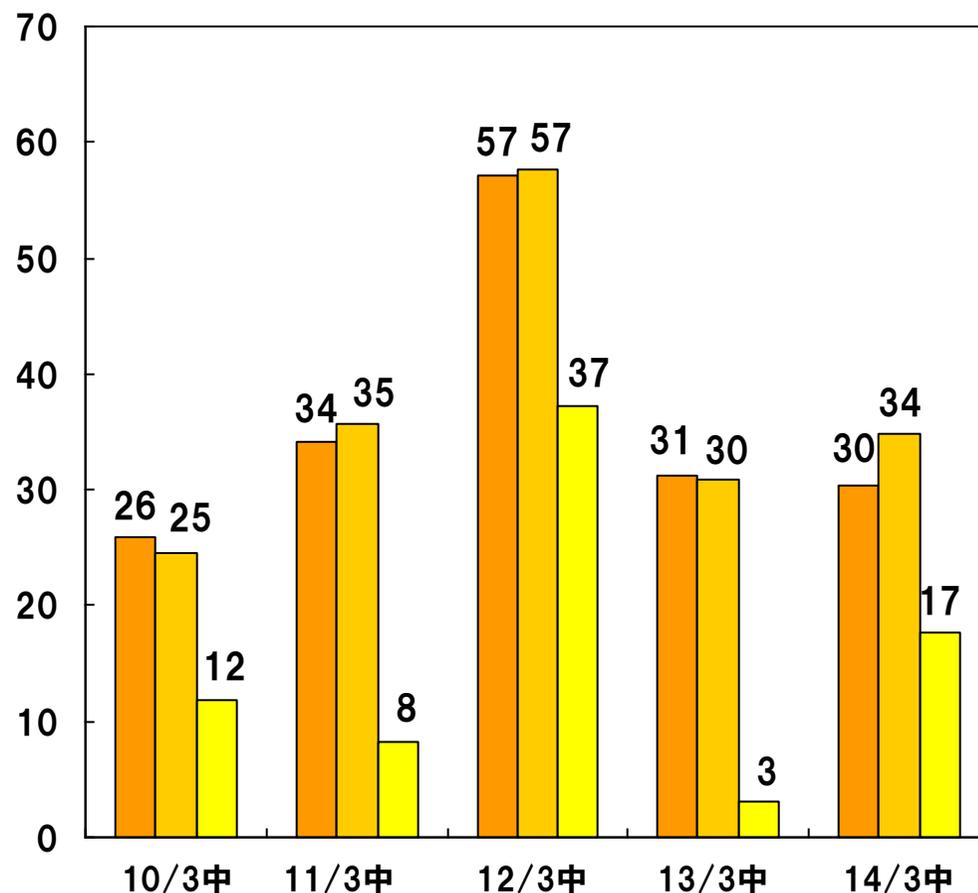
## 〈営業利益・経常利益・純利益推移〉

(億円)

■ 営業利益

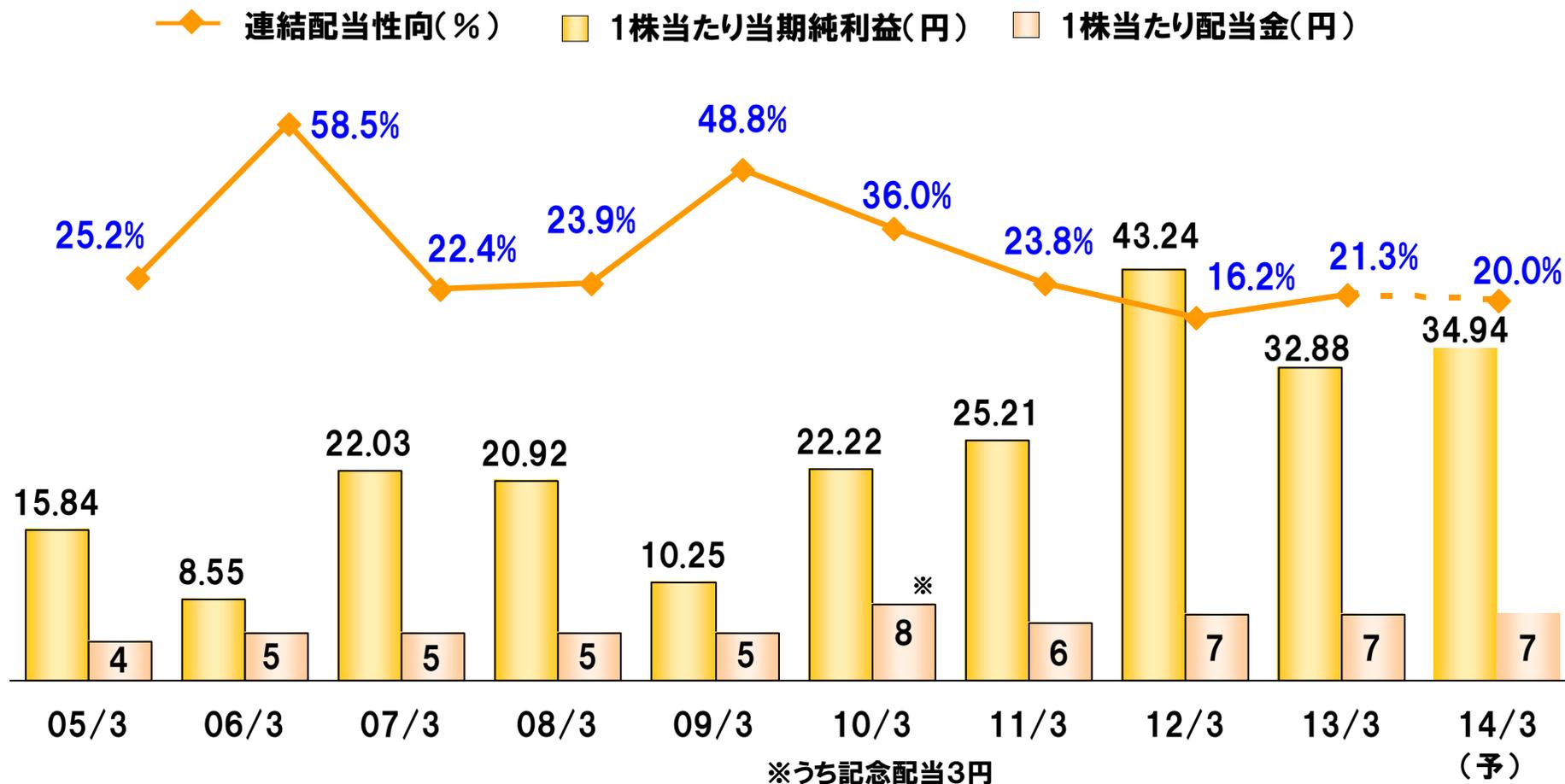
■ 経常利益

■ 純利益



## 配当方針

- ・継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・業績や経営環境を慎重に勘案しつつ適正な利益還元を実施



10月21日に公表した平成26年3月期の第2四半期累計期間の業績予想を修正致しました。  
なお、通期業績予想は変更しておりません。

## 1. 連結業績予想数値の修正

平成26年3月期 第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想	308,200	3,400	3,200	500	2.03(円)
今回修正予想	308,400	3,030	3,480	1,770	7.19(円)
増減額	200	△370	280	1,270	—
増減率	0.1(%)	△10.9(%)	8.8(%)	254.0(%)	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	304,036	3,126	3,081	305	1.25(円)

# Iwatani